



ESD-Jオンラインセミナー 2021.02.27

## 第4回 地域づくりのESD/SDGs



# ESDを通した地域の人材育成とSDGs

～ これからの学校教育とジオパーク教育 ～



伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会長

元伊豆市立天城中学校 校長 大塚 明



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



UNESCO  
Associated  
Schools

# 学校の位置



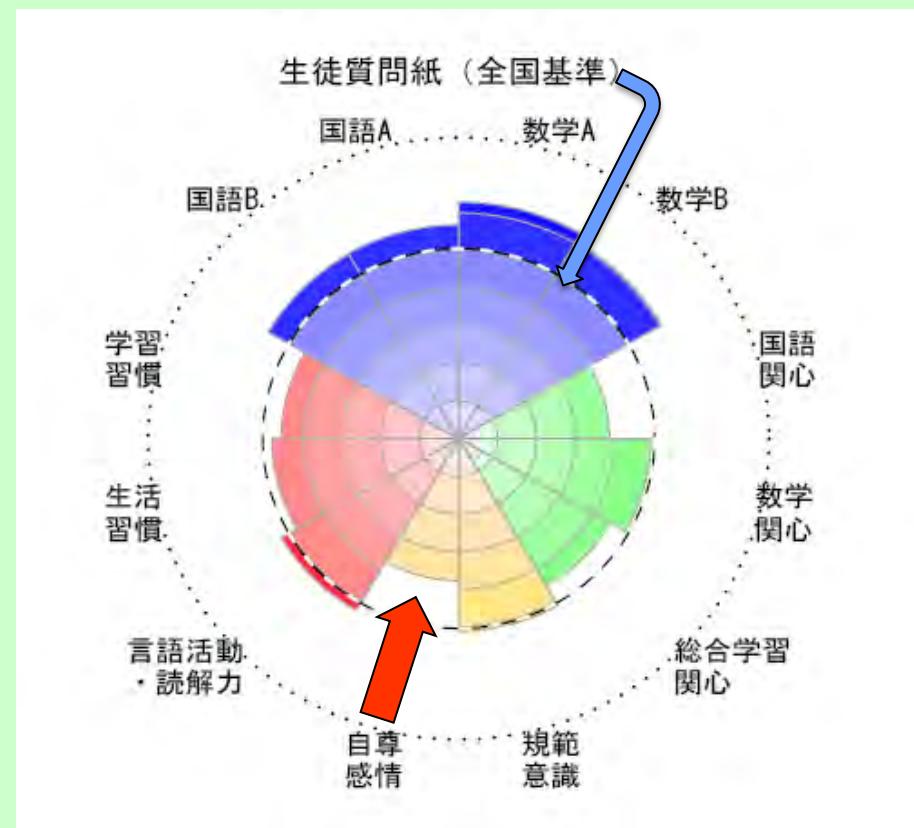
静岡県  
伊豆市立  
天城中学校



# ESDを始めたきっかけ その1

## 平成21年度 全国学力・学習 状況調査結果

自尊感情が  
特に低い!



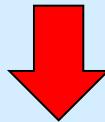
# 自尊感情の低さからくる課題

自尊感情

自己肯定感・自己有用感  
自己効力感・アイデンティティー

自信 = 自分の可能性を信じる心

もっと自分に自信を持ってほしい！



# ESDを始めたきっかけ その2

ある授業の中で

**将来住みたい所はどこ？**



9割以上の生徒が

**東京・横浜！**

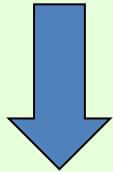
どれだけ自分たちの住んでいる  
地域の良さ(すばらしさ)を自覚しているのだろうか？

私たちの

**住んでいる地域に誇りをもってほい！**

# 生徒の実態

天城に住んでいながら  
地域のよさやすばらしさを感じてない

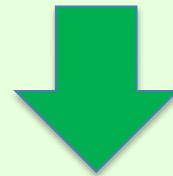


地域の自然や文化・歴史の  
すばらしさを実感させたい

# 2つの教育課題の解決策を模索する中 ESD に出会う

?

ESD = 持続可能な開発のための教育



ESD = 持続可能な社会の担い手を育てる教育  
( 創り手 )<sub>2017年~</sub>

# 研究仮説

生徒が**自信**を持って行動 → **生きる力**

ESD



**持続可能な社会の担い手を育てる教育**

体験を通して地域の良さを知る

自尊感情を高める

地域の人とつながる

**地域に誇りをもつ**

地域の**課題**から未来像を描く

自分たちにできることを考え・行動する

# 手だて ①

**総合的な学習の時間を  
ESDの視点で見直し組み直す**

## ポイント

- ① 地域での体験活動の重視
- ② 地域の人とのつながりの重視

# 総合的な学習の時間『天城学習』計画

## 福祉体験学習 1年 地域の福祉施設で直接体験学習

デイサービス、介護老人保健施設、老人福祉施設等での体験を通じ、思いやりの心を育て、よりよい生き方や共生の意味を考える。

## 自然体験学習 1・2年 地域の自然環境で直接体験学習

天城山の縦走を経験することにより身近な自然に変化があることを実感し、環境意識を高め、地域の自然を持続するための方法を考える。

## 職場体験学習 2年 地域の職場で直接体験学習

地域を支える仕事や産業について考え、地域が現在の経済を維持し、持続可能な発展をするためには何が必要かを体験をもとに考える。

## 修学旅行 3年 → 地域学習 3年 地域の持続発展を提言

「2022年夢天城～10年後、天城の魅力を持続・発展しよう～」をテーマに、京都・奈良をモデル都市としてその魅力を探ると共に、天城の魅力や課題を新たに発見し、今後の地域の持続発展を見据えた提言をする。

## 手だて②

「持続可能な社会の担い手づくり」  
という視点で教育活動全体を見直す

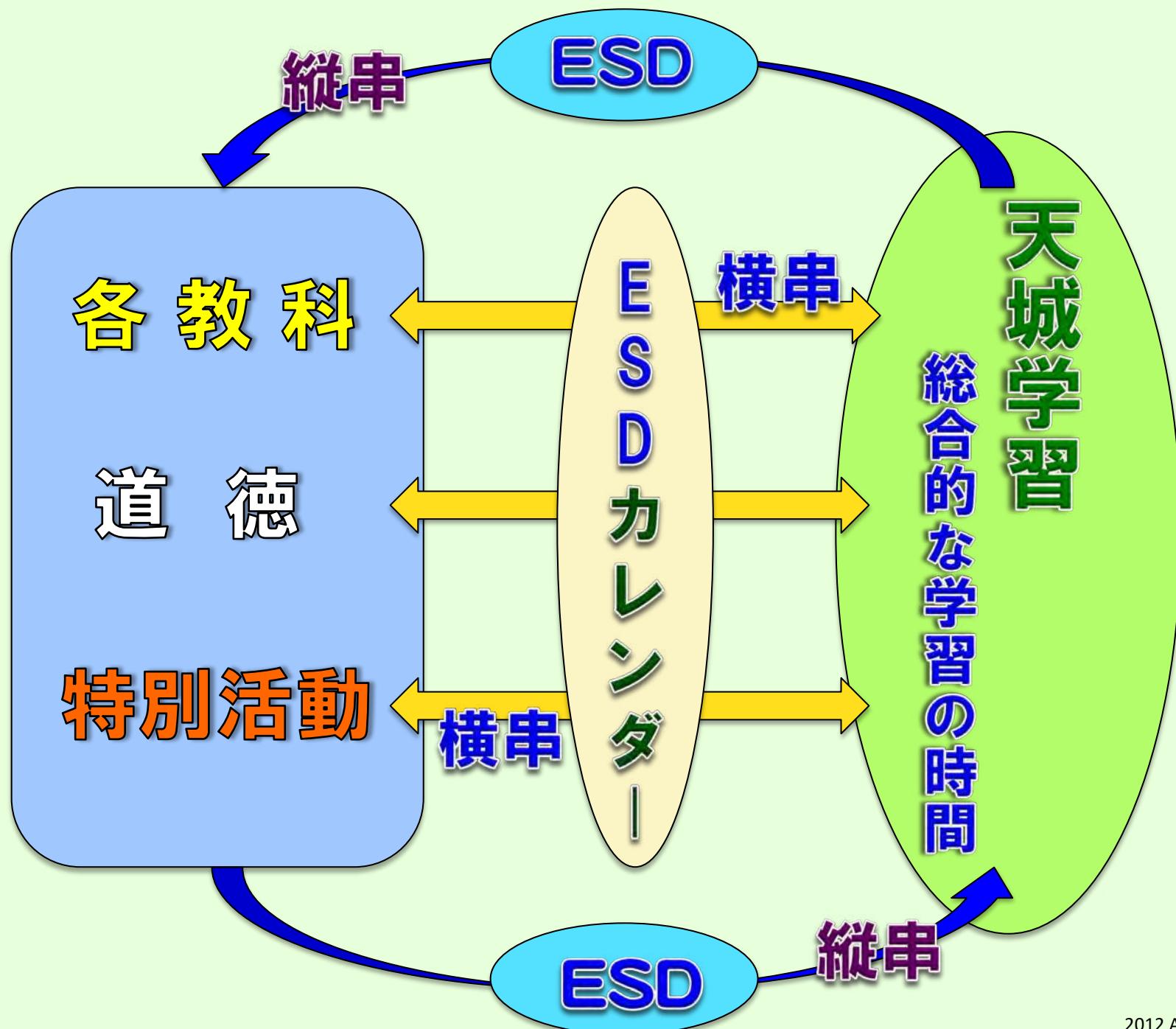
### ポイント

各教科・道徳・特別活動との

横断的つながりの見直し

カリキュラム

マネージメント → ESDカレンダー



グローバルな視点

主に各教科で

Think Globally

地球規模で起きている課題の理解

地球温暖化

資源の枯渇

生物多様性の危機

戦争・紛争

食糧問題

飢餓・貧困 etc.

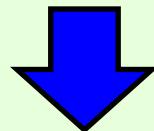
ローカルな視点

主に総合で

Act Locally

地域で起きている課題の理解し行動する

天城山のブナやマメ桜の枯損  
鹿の食害 少子高齢化・過疎 etc.

グローバルな  視点

世界と地域の課題のつながりの理解

SDGs



# 目指すものは

21世紀を「生きる力」を身につける

ESD



自尊感情を高め

(持続可能な社会の担い手を育てる教育)

地域を「持続可能な社会」にしよう

体験と地域の人とのつながりから

学び・考え・行動する

# 総合的な学習の時間と地域のつながり

3 すべての人に  
健康と福祉を



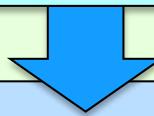
## 1年 福祉体験

11 住み続けられる  
まちづくり



福祉体験ガイダンス・福祉施設のオリエンテーション

車椅子体験・高齢者体験・アイマスク体験・認知症講座



グリーンズ修善寺

安寧の郷

駿豆学園

田方ゆめワーク

天城ディイサービス

# 総合的な学習の時間と地域のつながり

15 陸の豊かさも  
守ろう



## 1・2年 自然体験

14 海の豊かさを  
守ろう



天城自然  
ガイドクラブ

登山ガイド  
安全確保

イズシカ問屋

林野庁  
伊豆森林管理署

森林学習(事前学習)  
鹿防護柵の器材準備  
環境省への許可申請  
登山の安全確保

13 気候変動に  
具体的な対策を



NPO法人  
天城こども  
ネットワーク  
伊豆自然塾

ネイチャーゲーム  
野外活動

有害鳥獣捕獲隊

# 総合的な学習の時間と地域のつながり

## 2年 職場体験

### 旅館

落合樓村上  
船原館 東府屋  
たつた旅館  
木太刀荘

### 商店

天城スター  
伊豆の佐太郎  
竹の子かあさんの店  
大地讃頌(八百屋)  
梅人の里  
森島米店

### 事業所

天城ディサービス  
伊豆森林管理署  
天城ゴルフクラブ  
天城わさびの里  
昭和の森会館

### 農家 製造業

わさび農家  
若木屋(豆腐製造)  
天城ローズファーム  
東京ラスク  
堀江養鶏

8 働きがいも  
経済成長も



11 住み続けられる  
まちづくりを



# 天城を持続可能な地域とするために

8 働きがいも  
経済成長も



## 3年 修学旅行 国際都市 京都・奈良に学ぼう

9 産業と技術革新の  
基盤をつくろう



### 天城の産業興し

京都市役所  
・環境政策局  
・都市計画局  
・産業観光局  
・文化市民局  
・建設局

観光情報センター  
清水寺門前会  
景観まちづくりセンター

### 天城の人づくり

京都市体育協会  
景観まちづくりセンター  
龍安寺

4 質の高い教育を  
みんなに



17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



### 天城の幸せづくり

清水寺社務所  
京エコロジーセンター  
下鴨神社  
平等院社務所  
ひと・まち交流館  
景観まちづくりセンター

# 天城を持続可能な地域とするために



2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

## 3年 地域学習

Only One な地域づくり

天城の産業興し



伊豆市役所

- ・観光交流課
- ・農林水産課
- ・観光商工課
- ・環境衛生課

伊豆市観光協会

修善寺総合会館

森嶋米店

天城の人づくり



伊豆森林管理署

浄蓮の滝観光センター

昭和の森会館

天城ミュージアム

木村屋製菓

東府や

天城会館

慶友病院

天城の幸せづくり



明徳寺

山葵農家

夕鶴記念館

虹の郷

落合樓村上

東京ラスク

天城湯ヶ島商工会

中島病院



**ESDの実践により**

**様々な**

**予期せぬ成果が現れた！**

**(予定調和でないことに価値がある！)**

# 東日本大震災の被災地への学用品支援に

## 生徒会が立ち上がり 全校生徒に呼びかけた！



### 気仙沼に学用品を

県内で初めてユネスコスクールの認定を受けた伊豆市立天城中の生徒が12日、多くの小中学校がユネスコスクールの認定を受けている宮城県気仙沼市に寄付するため、各家庭の学用品を同校に持ち寄る活動を始めた。13・15日にも実施し、生徒会執行部が仕分けして15日に現地に向けて発送する。

#### 伊豆天城中

12日には活動に賛同した生徒が文房具や体操着、手提げ袋、ランドセル、弁当箱など次々と持ち寄り、生徒会執行部が品目ごとに受け付け

た。生徒会長の三田悠太君(3年)は「予想以上に多くの学用品が集まり、驚いた。ユネスコスクール加盟時にお世話をしたい」と語る。同校はユネスコスクール認定前の一年年、担当教員が気仙沼市立面瀬(おもせ)中と鹿

### 協力のお礼に

折(し)おり中を観察して手続きの方法などを学んだ。震災後にユネスコスクール認定校で組織する団体から学用品寄付の依頼が加盟校により、本年度の始業式で校長から依頼の話を聞いた生徒会執行部が、全校生徒に学用品の提供を呼び掛けた。気仙沼市は、持続可能な社会の実現を目指すユネスコスクール活動の先進地で、1月まつた学用品は気仙沼市教委を通じて被災した児童・生徒に配られるという。



4月15日(金)  
東北大学と宮城教育大学を通じて  
ユネスコスクールの仲間へ  
送付しました

# 第1回持続発展教育(ESD)大賞



生徒の自尊感情にプラスの影響

# 天城の自然を守りたい！

鹿の食害を防ぎたい

ブナを植林したい

マメ桜を守りたい

伊豆森林管理署に相談

国立公園内では、**植林など人が自然に手を加える事は禁じられている！**

15 陸の豊かさも  
守ろう



14 海の豊かさを  
守ろう



鹿防護柵なら許可が取れる  
森林管理署と協働して鹿柵を作ろう

つげ峠鹿柵プロジェクト

(第三種郵便物認可)

## 防げシカ食害 防護柵を設置

同校は、持続可能な社会を  
向けて自らに何ができるかを  
考える「天城学習」に取り組  
んでいて、3年生が学習の集

内田智彩さんは「50後に成  
果が出るプロジェクト。数年  
後に木が生えているとい

う」と思いを巡らせた。  
同校は今後も定期的に防護  
柵内の植生の状況を観察して

## 食害による森林荒廃で設置

責争

伊豆・天城中3年生

国際森林年を記念し、持続発展教育（ESD）  
組んでいた伊豆市立天城中の3年生70人が19日、  
林管理署や天城自然ガイドクラブと連携し、伊豆  
伊豆町の境にある伊豆山稜線のつげ峠（標高960  
の国有林に、シカの食害を防ぐための防護柵を設

伊豆市立天城中学校 大塚明校長の3年生70人が19日、  
伊豆森林管理署の事業に協力し、伊豆山稜線歩道沿いのつ  
げ峠（標高960m）にシカ防護柵を設置した。



つげ峠  
2カ所  
延長50メートル

天城中生がシカ防

災害  
一トメ

伊豆日日新聞

2011.10.20

伊豆日日新聞

伊豆の国市三橋191-1  
〒410-2321  
電話0558(76)4760  
FAX0558(76)4725

伊豆新聞本社  
〒414-0054  
伊東市鎌田1290-6  
電話0557(36)1234

ホームページ  
<http://www.izu-np.co.jp/>

つげ

## 活動が新聞に掲載されました



シカ防護柵を設置する生徒—伊豆山稜線のつげ峠

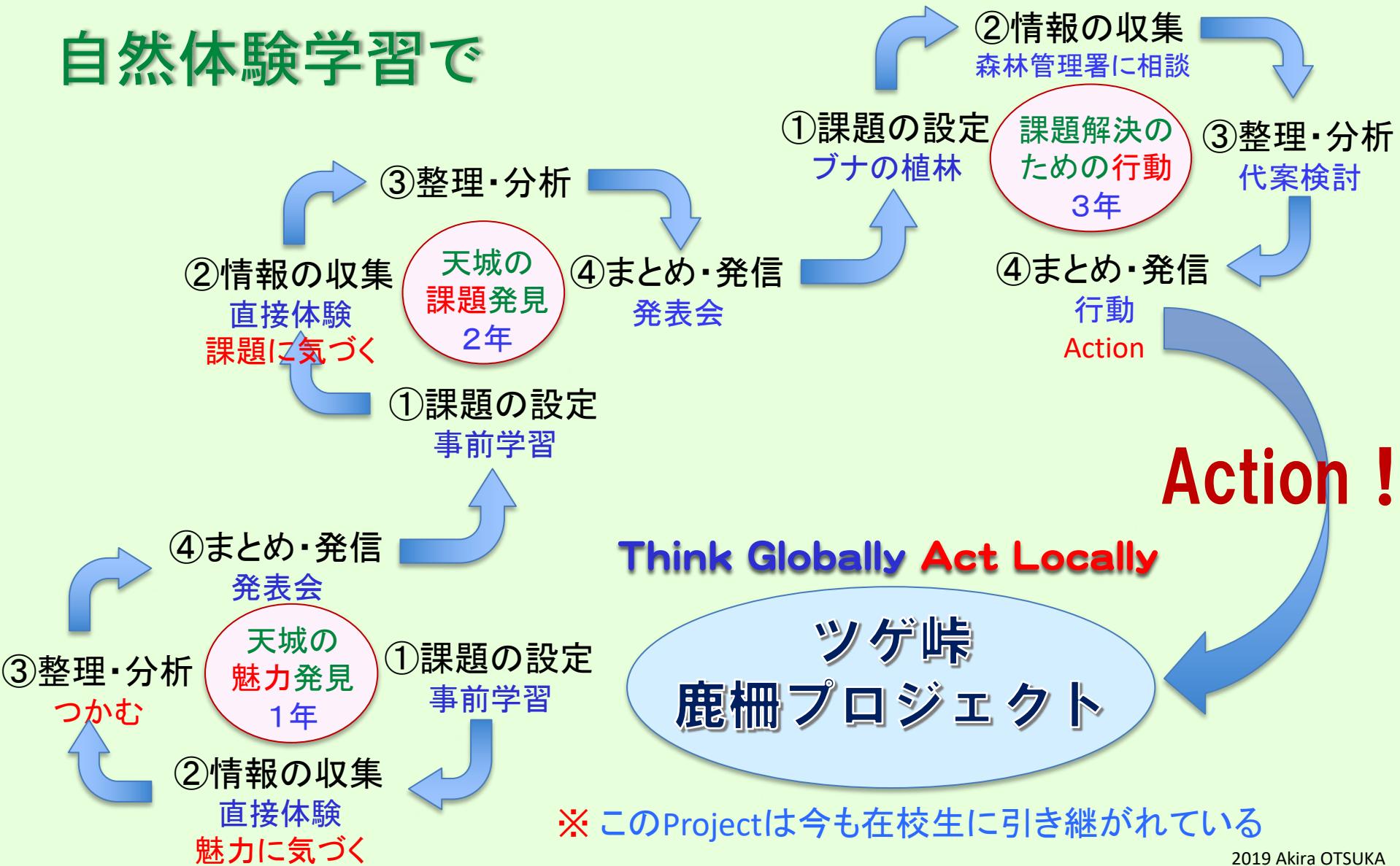
の植生助ける

大成として実施した。3年の  
内田智彩さんは「50後に成  
果が出るプロジェクト。数年

後に木が生えているとい  
う」と思いを巡らせた。  
同校は今後も定期的に防護  
柵内の植生の状況を観察して

# 探究のサイクルが回った！！

## 自然体験学習で

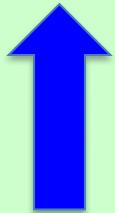


〈 ESDに取り組んだ最大の成果 〉

## 生徒が自信を持ち、主体的に動くようになった

体験や調査を通して地域の課題に気づき  
天城学習発表会で自分たちの考えを  
地域に向けて発信できるまでに成長した

自分の夢や将来像



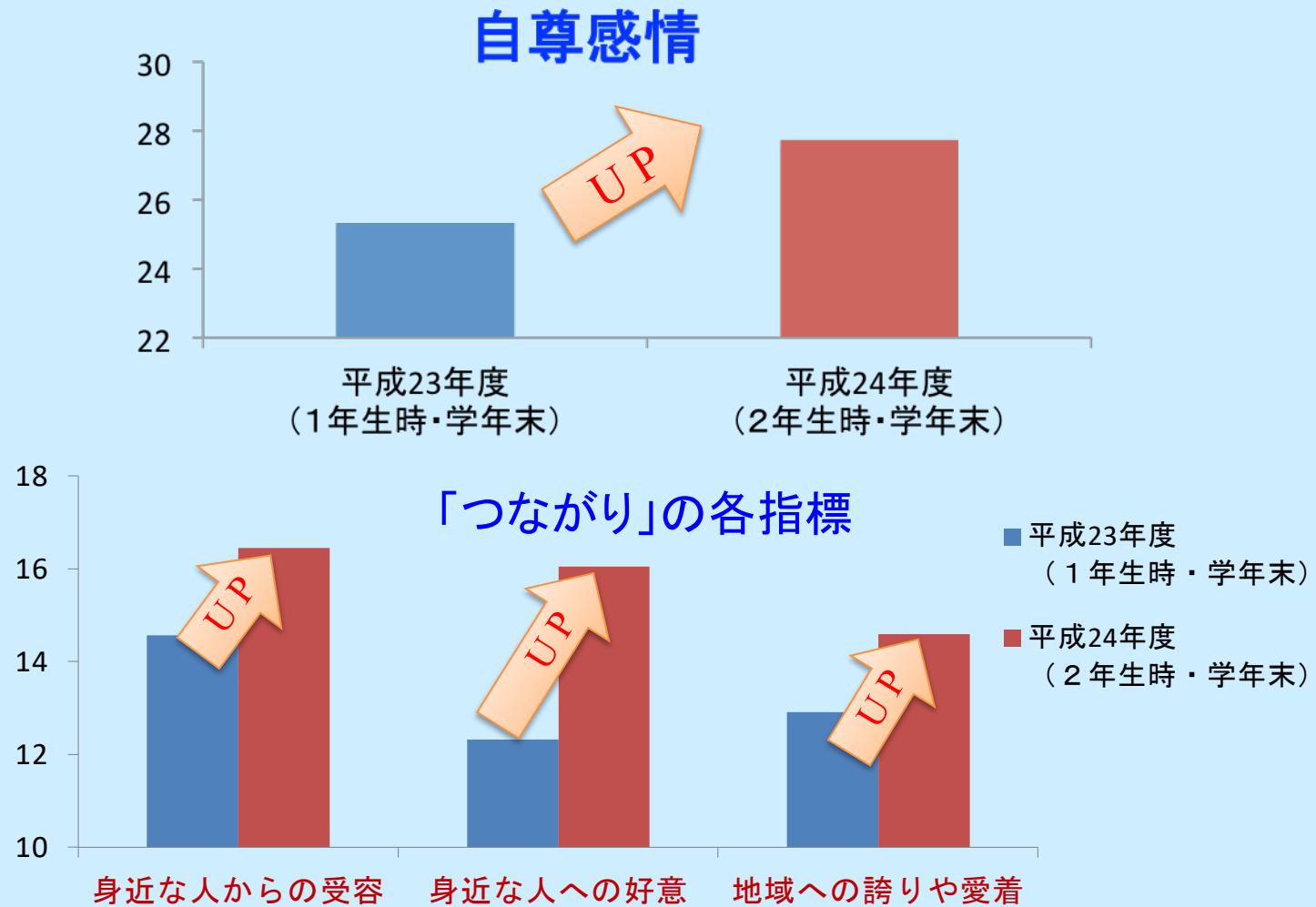
へと結びつく

保護者や地域の方からの賞賛

市長からの高い評価

「市の職員として採用したい！」

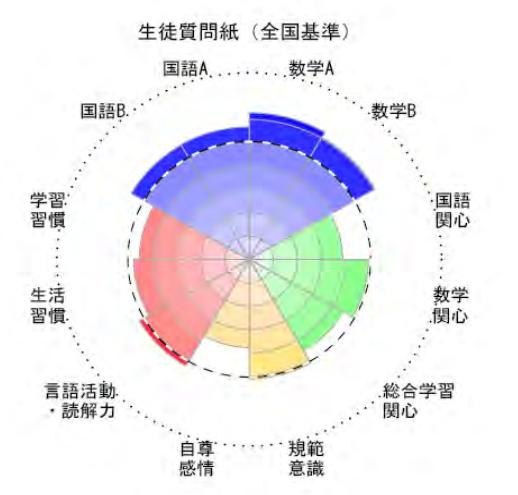
# 自尊感情と「つながり」に関する各指標の1年間の得点推移



# 全国学習状況調査の比較

## H21年度・H26年度・H29年度

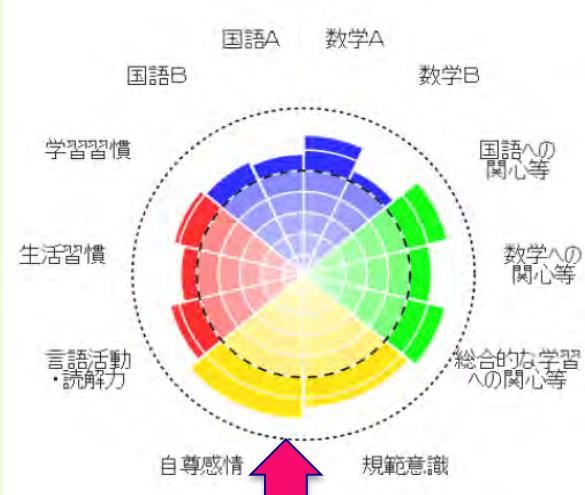
H21年度 3年生



H26年度 3年生

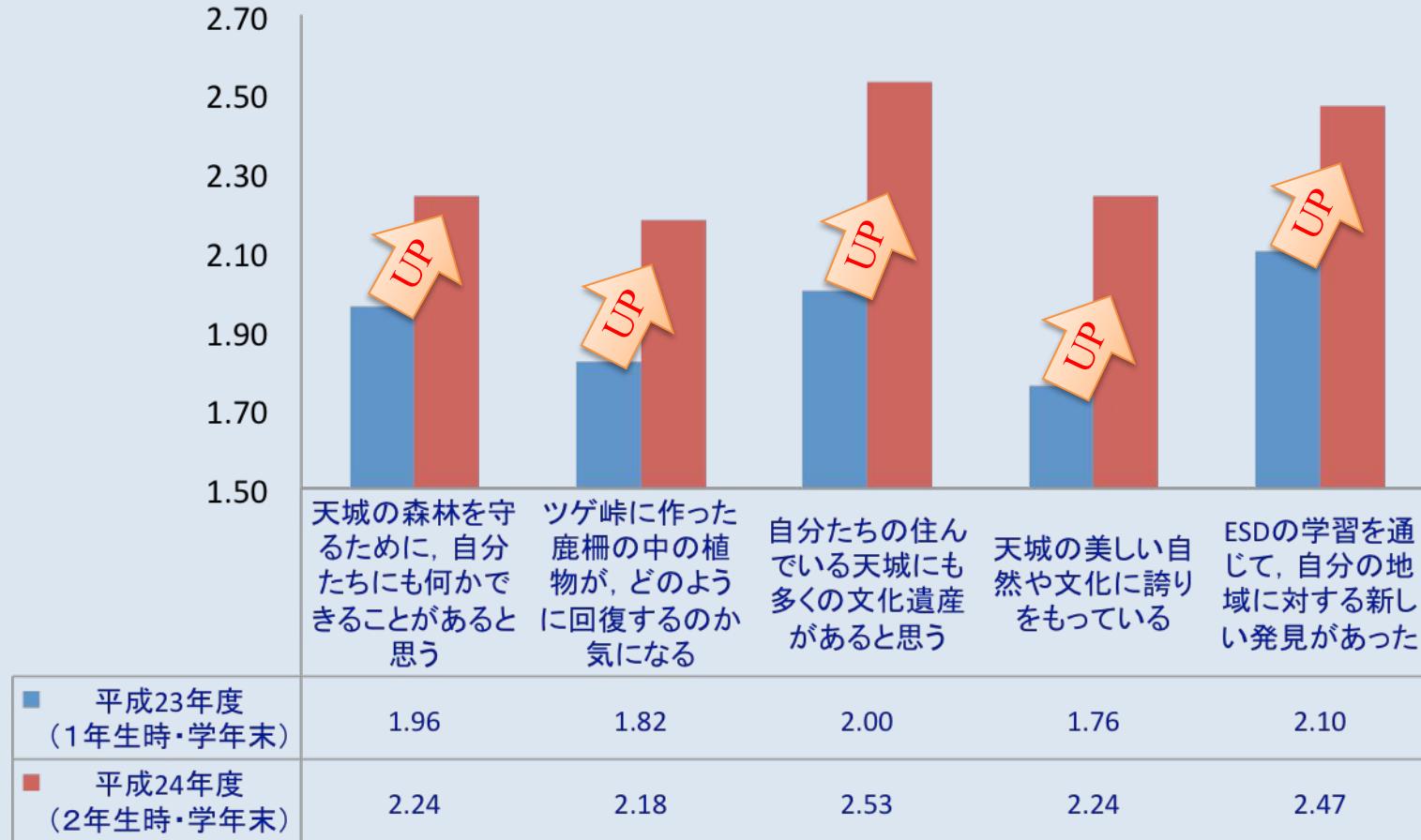


H29年度 3年生



自尊感情の項目が全国を越える！

# 天城学習への理解に関する質問項目の1年間の得点推移



# ESDの学びと自尊感情は・・・

## 人や地域とのつながり

自尊感情に影響を与えた因子

- ① 身近な人からの賞賛
- ④ 友人への好意や理解
- ③ 地域への誇りや愛着

自分に自信がもてるよう

## 自尊感情

外からの受容

相互理解

誇りや愛着

## ESD実践の要素

自然体験  
福祉体験  
地域学習

地域での自然体験(天城縦走)  
福祉体験を通した思いやりの心  
地域の職場や文化の体験

# 生きる力

生徒の  
「自尊感情」や「地域への誇り」は  
ESDの実践における  
「つながり」  
の中で生まれた！

身近な人からの受容  
(地域の人のつながり)

地域とのつながり  
(地域とのつながり)

身近な人への好意  
(人とのつながり)

## ESDの概念を 含む実践

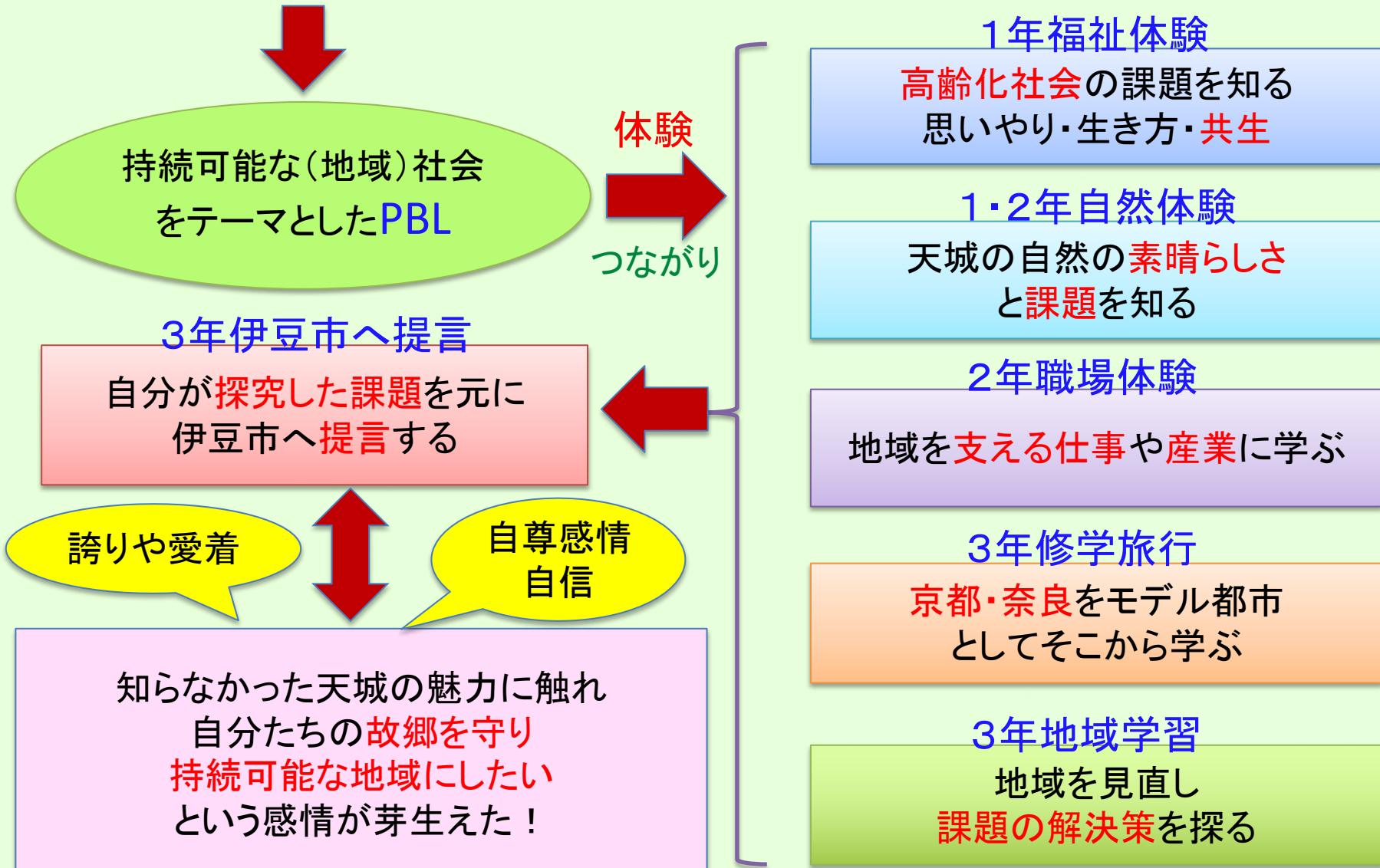
# ESDの実践を通して

価値観が多様化し、問題が複雑  
に絡み合って答えの見えない  
**21世紀を生き抜く力**



**ESDは「つながりを喪失した」  
子どもたちの「つながりの再生」を  
促し生きる力を育むための学び**

# 天城学習から何を学んだか？



# 卒業後の進路選択に大きな影響！

人間社会学地域創造学類へ進学

ESDを通して地域の魅力を知った私は将来地域に貢献できる仕事がしたい。

UH大学1年

国際医療福祉大学へ進学し看護師に

私はESDを通して助けが必要な人のために看護師になりたいという夢をもちましたUM社会人2年

教員養成系の大学へ進学

故郷を持続可能にするための学習は地域貢献だけでなく自分の成長の大きな手助けになった。

KT大学1年

伊豆市総合政策部総合戦略課

地元を知り、考えるきっかけを与えてくれたのが正に天城学習である。

社会人5年目

# ESDの学びから地域創生へ

地域舞台としたESD  
答えのない問いの探究

自然体験  
感動！  
大自然の雄大さ  
底知れぬ魅力

地域に対する  
誇り・愛着  
地域愛

自分ごと  
何とかしたい  
仲間と共に悩む

様々な体験  
地域の課題  
に気づく

提言  
自分なりの答え

自尊感情

体験  
様々なつながり

仲間意識

地域を誇る

人とつながる

自信

人から受容

賞賛

将来は地域に貢献できる仕事がしたい！  
持続可能な社会の創り手となる

ジオパークは世界遺産やBR:生物圏保存地域(エコパーク)とともに

# 「持続可能な開発目標 SDGs」をも担う



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



UNESCO  
Global  
Geoparks

## UNESCO Global Geoparks



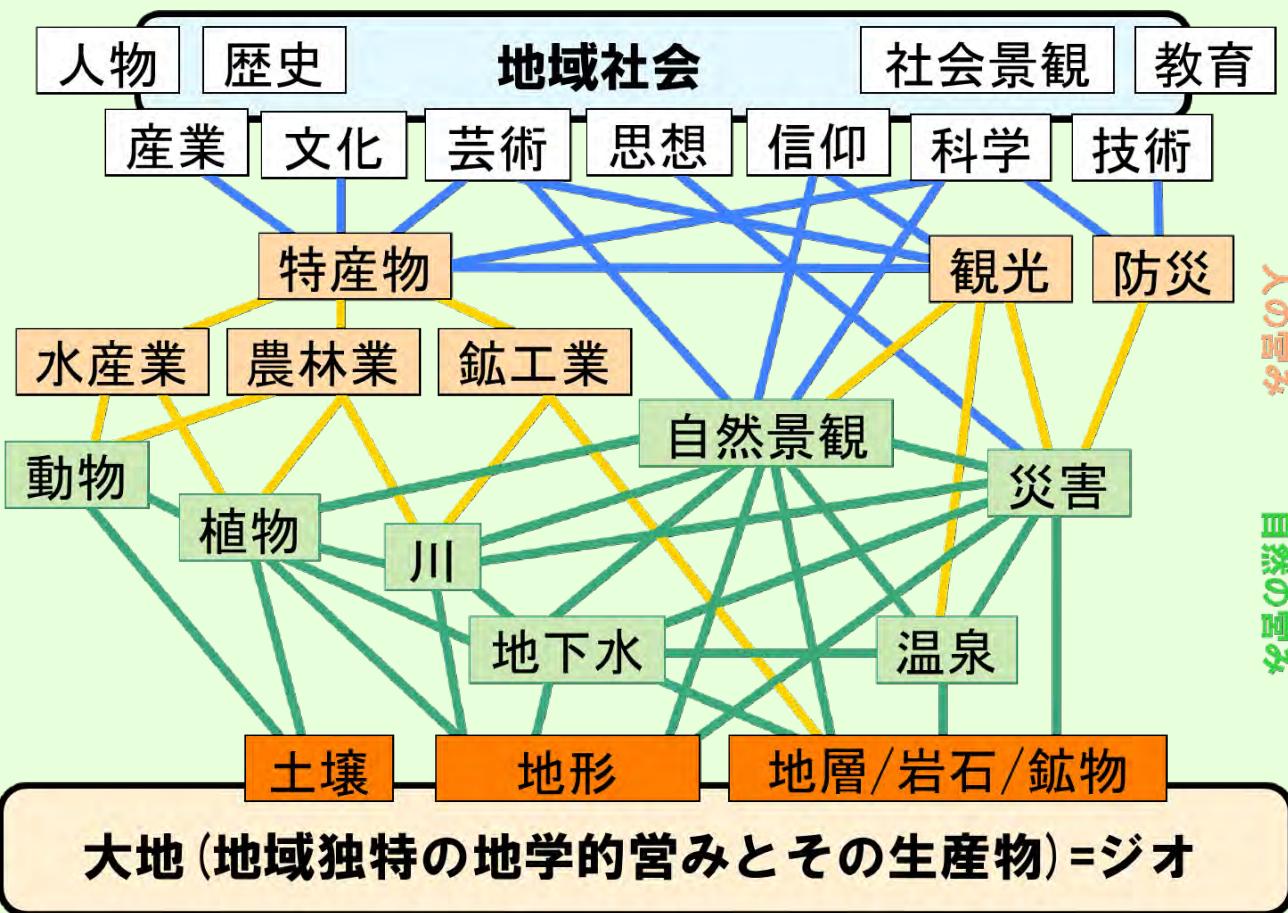
伊豆半島ジオパーク  
IZU PENINSULA GEOPARK

are single, unified geographical areas where sites and landscapes of **international geological significance** are managed with a holistic concept of **protection, education and sustainable development**.

「ジオパーク」とは、ESDの推進や世界遺産などと同様に  
ユネスコが推し進めているプログラム  
地質学的にみて国際的に価値のあるサイトについて  
「保護」「教育」「持続可能な開発ESD」が一体となった概念  
により管理されたエリアが、ジオパークとして登録されている

are generated through **geotourism**, while the geological resources of the area are protected.

# ジオパークの方法



人の営みから  
自然の営みを  
自然の営みから  
人の営みを

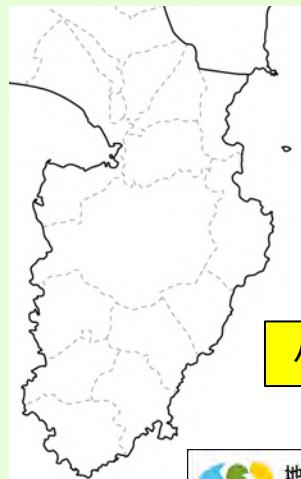
人の営み  
自然の営み

相互理解することがスタート

ジオパークの視点で見る世界のとらえ方 小山 (2010)

伊豆半島ジオパーク協議会 資料より

# 伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会の取り組み



ジオガイドが、各ジオサイトで実施できる教育プログラムを掲載した冊子を作製

## 小中学生のためのジオ学習



7市8町の全小中学校に配布とともに、各地の校長会へ出向き、ジオガイドの出張授業を周知

## 依頼



校長より各校へ



**伊豆半島ジオパーク**  
IZU PENINSULA GEOPARK  
推進協議会 教育部会

ジオパーク推進協議会より  
初回に限り補助（予定）



プログラム実施  
(出前授業等)

## 認定ジオガイド

## 課題意識

伊豆の小中学校の生徒たちは、伊豆の良さを知らずに、将来は都会に出たい気持ちを持つ子が多くいた。地域の未来を担う人材を育成するために、ジオ学習を通して伊豆の自然・歴史・文化の素晴らしさを知り、**地域に誇りと愛着を持って欲しかった。**

→天城学習や西豆学を学校で実施

<教育部会：大塚明氏(元校長)>  
<教育部会：土屋晴樹氏(元校長) >

これまでもジオガイドが個人的繋がりで学校への出前授業を行っているケースはあったが、仕組みにはなっていなかった。

## 成果

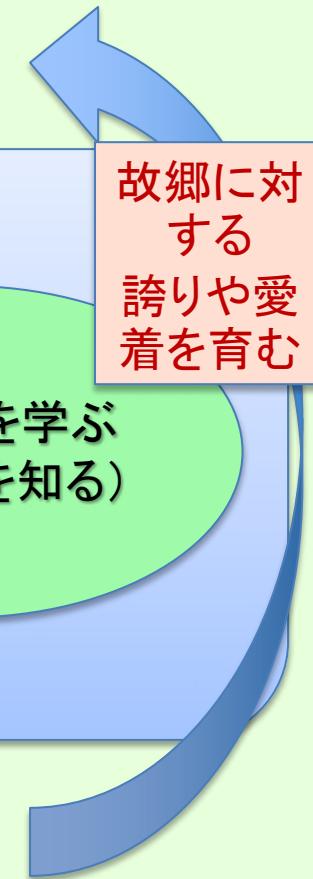
- 本取り組みにより、専門的な知識を持ったジオガイドを、制度として学校に派遣することが可能となり、**質の高いジオ学習を推進する体制**が整った。
- ジオパーク推進協議会が初回の費用を補助することで、学校が導入する際の資金的課題が解消され、外部講師によるジオ学習導入のハードルがる。

# ジオ（大地）から学ぶ学習



ブラタモリ的な学び

地域を持続可能な社会にするための学習



※ 地域の課題を解決するためにできることは何かを探究する  
↓(現代的課題=SDGs)

子どもにとって自分事になりやすい → アクティブラーニング

# ジオ 大地と地域とのつながりを考える

産物  
(食)

天城でワサビが特産なのはなぜ?

石畳式栽培(世界農業遺産)

湧き水が豊富 水温が一定

伊豆は雨量が多い 多孔質の火山岩



伊豆半島は火山の島

観光地  
(景観)

伊豆にたくさん滝があるのはなぜ?

火山噴火 溶岩流 柱状節理

天城連山 獅子川 たくさんの支流



伊豆半島は火山の島

伊豆に温泉が多いのはなぜ?

旅館

(温泉・湯治)

地熱

地下のマグマ

熱水鉱床

伊豆半島は火山の島

大仁金山  
土肥金山  
持越金山

# ジオパーク教育と地方創生



ジオ（大地・地球）

- 環境・社会・経済のつながりを学ぶ
- 大地の成り立ちとのつながりを学ぶことで地域に対する誇りや愛着が育まれる
- 地域への愛着が課題解決への行動を促す



持続可能な地域の創り手に！

# ESDが示す新しい教育の方向

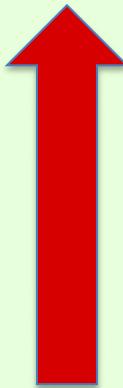
ESD

持続可能な社会  
とは？

正解のない問い

PBL

アクティブ  
ラーニング



主体的  
対話的  
深い学び

正解だけを求める教育

生徒の学び

探究の過程を通して  
学び方を学ぶ

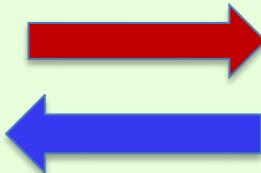
探究の過程

先生の役割

ファシリテーター  
コーディネータ  
生徒と共に探究する

# ESDから見たSDGsとの関係

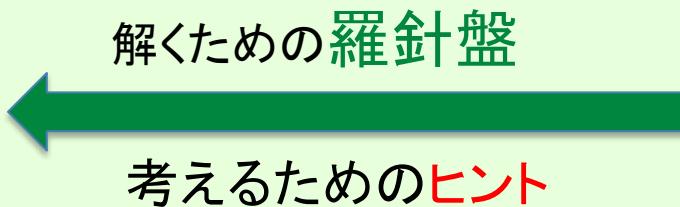
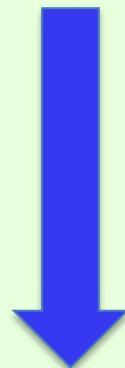
持続可能な社会  
にするためには？



持続不可能な社会  
(現在の世界の状況)

正解は誰にもわからない  
(答えのない問い)

ESD



様々な解が考えられる  
17の目標はすべて関連している！



様々な要因が  
絡みあっている



解決しなければ  
ならない課題は

**SDGs**  
17の目標  
169のターゲット

# 10~20年後の世界

2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの  
**65%**は大学卒業時に**今は存在しない職業**に就くだろう。

〈2011年8月 デューク大学〉

日本の労働人口の**49%**にあたる職が  
10~20年後には**人工知能やロボット**に代替可能に

〈2015年12月 野村総研・オックスフォード大学〉

代替可能な職業 = 決められたことを決められた通りに実行する(正解のある仕事)

**創造性・協調性が必要な職業が残る！**

# 今必要な学力観の転換

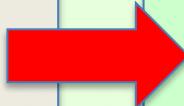
## 〈20世紀の故里観〉

仕事が無いから帰れない！



(都會にしか仕事が無い)

**志を果たして帰る所**



## 〈21世紀の故里観〉

仕事を創りに帰りたい！



(都會では出来ない仕事をする)

**志を果たしに帰る所**

**使えない知識の量 → 新たな価値を創る力**

**(故郷を捨てる学力 → 故郷を活かす学力)**

# これからの教育の目指すところ

～ 21世紀に於ける教育の変革 (transformation) ～

- ①体験を通して本物を学ぶ (実感を伴った理解)
- ②知識の量より学び方を学び、知識を活用できる力をつける (批判的思考力と活用力)
  - ③正解がない問いに  
自分なりの解を導く力 (根拠をもって解を導く力)



鵜呑みにしない

持続可能な世界の創り手を育てる

## 〈私がSDGsに取り組むようになった理由〉

私はNHKの「クローズアップ現代」で  
現代的な課題を取り上げ  
その解決策を模索してきました。  
ところが、一つの課題の解決策を見つけると  
その解決策が、また新たな課題を生みだす  
ことに気づいたのです。

国谷裕子氏の言葉

# ESDとSDGs

SDGsの達成には教育(ESD)が不可欠！



SDGs達成に向けて  
**ESD for 2030**

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS

2030年に向けて  
世界が合意した  
「持続可能な開発目標」です

環境  
人権  
文化

# 実践内容を詳しく知りたい方は

「持続可能な社会の創り手を育てる教育」  
「自尊感情」をテーマとした中学校のESD実践記録



著者 大塚 明  
出版社 長倉書店  
定価 2,300円  
(税別)  
ISBN 978-4-88850-  
079-1

※ 楽天・Amazon等  
で購入できます。